

令和7年4月吉日

関係各位



福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校 校長  
牧田 秀昭  
公益財団法人 ソニー教育財団 理事長  
盛田 陽一  
ソニー科学教育研究会(SSTA) 理事長  
鈴木 華奈子

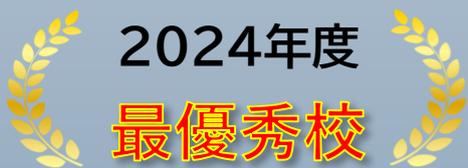
子ども科学教育研究全国大会



令和7年度教育研究集会

二次案内

ソニー子ども科学教育プログラム



福井大学教育学部  
附属義務教育学校

(附属幼稚園も同時開催)

令和7年6月13日(金) 8:10 ~ 16:30

会場:福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校



幼稚園研究主題

好きが広がり、世界をひらく

幼稚園研究副題(1年次)

遊びにおける展開の可能性を探る

義務教育学校研究主題(第Ⅱ期)

探究し協創するコミュニティ

義務教育学校研究副題(2年次)

学びを共に繰り上げるプロセスをデザインする



主催 福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校 公益財団法人ソニー教育財団 ソニー科学教育研究会(SSTA)

後援 文部科学省 福井県教育委員会 福井市教育委員会 福井県小学校教育研究会 福井県中学校教育研究会

# 附属義務教育学校

受付	児童生徒による オリエンテーション & ポスターセッション	公開授業Ⅰ + 語り合い	公開授業Ⅱ	昼食	分科会 (後期課程生徒参加)			
8:10	8:50	9:45	10:00	10:55	11:10	12:00	12:50	14:15

児童生徒によるオリエンテーションに引き続き、児童生徒とソニー子ども科学教育プログラム入賞者によるポスターセッションを行います。



## 公開授業Ⅰ(10:00~10:45) 児童生徒との語り合い(10:45~10:55)

教科/学級/授業者	主題 / 「単元・題材」/ めざす授業
<b>国語</b> 6年1組 授業者: 齋藤 創	2つの時間を使い分けるためには 「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」 筆者は何を伝えたいのだろう? 「心の時間」に関わる事例の納得度をきっかけに、事例の意味や込められた筆者の思いについて考え、その有効性と筆者の主張に迫っていく。書きぶりに着目して読むことで、読みの視点を豊かにしていく授業。
<b>社会</b> 4年2組 授業者: 五十嵐 浩介	捨てた先の「世界」をみつめる 「ごみ・下水のしよ理と利用」 快適なくらしを続けるために、自分たちにできることは何だろう? 日常での大量の廃棄物(ごみ・汚水)と出会い、自分たちが快適にくらすことができる裏側を探りながら、自分と廃棄物の関わり方について見つめていく。資源の循環システムの一員として自覚を抱き、「捨てる」を問い直していく授業。
<b>算数</b> 1年1組 授業者: 堀 歩美	いろいろなかたち なぜあるの 「いろいろなかたち」 身の回りにあふれる様々な形。どうしてこの形なの? 子供たちはいろいろな形の箱を使った遊びを通して、見たり体全体で感じたりしながら、形の仲間や特徴に気付いていく。友達との遊びや活動の中で、形の面白さに出会い、見方を豊かにし、興味・関心を広げていく授業。
<b>理科</b> 6年2組 授業者: 川崎 耕介	地球とは何者なのかに迫る 「本単元: 生き物どうしのかかわり、包括単元: 地球と私たちのくらし、植物のからだのはたらき、大地のつくり、地球に生きる」 生き物にとって田んぼはどのような存在なのだろう? 田んぼを耕し、コメを育てる活動を通し、生き物の視点とヒトの視点を往還しながら生態系における田んぼの価値を探っていく。田んぼを通した生き物同士のつながりという観点から、地球という星の世界観を広げていく授業。
<b>音楽</b> 5年2組 授業者: 中村 涼子	音が重なり合ったとき、どう感じるかを探ろう 「音の重なりを感じ取ろう」 ハモるってどんな感じ? 音が重なり合ったとき、どう感じる? 様々な音の重なりから生まれる響きを聴いたり、歌や楽器で音楽を表現したりする中で、和音の特徴を探っていく。仲間とともに和音の響きを味わいながら、自分たちの音楽を表現する授業。
<b>造形</b> 2年2組 授業者: 浅井 綾子	ここにずっといたい 「工作」 学校の中に自分だけのわくわくする場所をつくるとしたら、どんな空間になるだろう。好きな色や光の入り方、飾り方を工夫しながら、「ここにいたいな」と思う空間を傘の中に表していく。自分の「好き」に囲まれた空間をつくり出すことを楽しみ、お互いの好きな世界を味わう授業。
<b>体育</b> 3年1組 授業者: 小池 康一郎	オリジナルネット型ゲームをつくろう 「用具を操作する運動 ネット型ゲーム」 ネットをはさんで楽しいゲームはできないかな? オリジナルゲームを考え実践する過程で、誰もが楽しめるルールの内実を考え、必要な技能の習得を目指す子供たち。ネット型ゲーム独自の楽しさを追究し、魅力を広げていく授業。
<b>外国語</b> 5年1組 授業者: 布目 康裕	互いに伝え合い、世界とつながり、互いの魅力を認め合おう! 5 Goグローバルプロジェクト 通年プロジェクト 友達や海外からのゲストのことをもっと知ってつながりたい! 子供たちは、自分自身のことを英語で伝え合いながら、どう相手と深くつながることができそうかを、やり取りをしながら探っていく。他者との英語でのやり取りを通して、自分と他者との共通点や違いを認め合いながら、英語でつながる喜びを実感していく授業。

## 児童との語り合い (各教科の授業後10分間)

授業で見取ったことを、直接児童と語り合い、お互いの学びを深める時間として設定しています。ぜひ授業を受けていた児童と教科の学びについて語り合ってください。



分科会(12:50~14:15)

①各教科の分科会 会場:義務教育学校の各教室

前期課程と後期課程の公開授業における子供たちの学びをもとにしながら、教科の学びについて教師と子供たちが語り合い、義務教育課程における協働探究の在り方について考えていきます。

②幼稚園の分科会 会場:義務教育学校

実践を通じた園児の幼稚園での育ちについて協議していきます。  
分科会は3歳児・4歳児・5歳児合同で行います。



## 公開授業Ⅱ(11:10~12:00)

教科/学級/授業者	主題 /「単元・題材」/ めざす授業
<b>国語</b> 9年C組 授業者:野尻 麻香	張り巡らされた筆者の意図を探ろう 「作られた『物語』を超えて」 これも「作られた『物語』」?構成や言葉の選び方に注目し、筆者の意図を読み解く中で「本当にわかっていたのだろうか」と一度理解したことを振り返り、新たな視点で問い直す。論説文における「論」を批判的に捉え、自ら問いを立てて読み進める中で、書き手との対話を深めていく授業。
<b>社会</b> 8年A組 授業者:木村 勇太	自給率38%、日本の食の未来を考えよう 「日本の地域的特色と地域区分」 日本で消費される農作物をそのまま海外からの輸入に頼り続けて本当に大丈夫?日本の農業の課題や自給率の現状を、人口や貿易、国民の生活といった視点から探っていく。海外に依存することの是非を問うことを通じて、世界との関わりの視点から、日本の現在から未来への食料事情を見つめ直す授業。
<b>数学</b> 7年B組 授業者:斎藤 恭央	カタチが語る学びの形 「平面図形・空間図形」 人類はどんなカタチに魅力を感じてきたのだろうか?美しいカタチ、使いやすいカタチ、安全なカタチ…。理想と現実を行き来しながら、人類が感じるカタチの魅力に迫っていく子供たち。カタチから図形の特性を協働探究し、共に学ぶ価値を見出す授業。
<b>理科</b> 7年A組 授業者:佐々木 庸介	おいしい野菜づくりプロジェクト 「身のまわりの物質とその性質・植物のからだのつくりとはたらき」 畑で作る野菜にはどんな成分が含まれており、どうすればその成分を増やせるだろう?子供たちは、土や野菜に含まれる物質の性質を調べ、水やデンプン、窒素肥料が物質の種類を変えながら成長に使われていくことを実感し、「生きる」仕組みを解明していく。生命観と物質観を繋ぎ合わせ、世界を見る解像度を上げていく授業。
<b>音楽</b> 8年B組 授業者:畑中 結衣	声でひらく!伝統音楽のトビラ 「日本の伝統音楽」 日本の伝統音楽って何?我が国の伝統音楽の歴史を紐解き、音楽文化に関する理解を深めていく。さらにその声の特徴を捉え、曲種に応じた発声によって具現化される声の音色や響き及び言葉の特性などに着目しながら、仲間と共に声による表現を探っていく授業。
<b>美術</b> 9年B組 授業者:坂居 澄美	幸せな未来をテーマにパビリオンを創造しよう 「あなたのイメージを探そう」「さまざまなアートに触れよう」 願いを込めたかたちってどんなかたちだろう。幸せな未来のために大切なことを考え、パビリオンのかたちにその願いを込め、模型として表現していく。想い描くイメージをかたちのみで表現する楽しさを味わい、未来へ向かう互いの創造性が1つの場で重なりあう授業。
<b>技術</b> 9年A組 授業者:高井 茂嘉	未来を創る自動化システムをプログラミングしよう! 「情報の技術」 生活を便利で快適にしている様々な自動化システム。そのプログラムを自分たちの手で再現・改良することはできないだろうか?子供たちは、思い描く動きを叶えるために、思考(プログラミング)と表現(ロボットの実装)を往還しながら対話を重ね、最適解を探っていく。情報化社会を支えるシステムを解明していく楽しさを味わいながら、現代社会に向けた新たな価値を創り出していく授業。
<b>家庭</b> 9年A組 授業者:小寺 拓也	幼児の成長を支える秘訣を探ろう 「家族・家庭生活」 幼児はどのように成長していくのだろうか。幼児の一人一人の発達段階、個性を認め合う中で、幼児の成長を支える人や材といった環境に関する視点を加えながら、最適なかわり方について協働を通して探っていく。交流から感じた幼児の成長と、自分が育ってきたこれまでの過程を重ね合わせ、多様な他者の価値を認め合い、支え合うことの大切さに気付いていく授業。
<b>保健体育</b> 8年C組 授業者:内田 和孝	35人のダンスで心を揺らせ 「現代的なリズムのダンス」 人の心を動かすダンスとは?多様な意見や想いを練り合い、1つ1つの動きを繋ぎながら、ストーリーをリズムにのせて表現していく。自己を表現するダンスの楽しさを味わいながら、他者と価値を認め合い、自他の感動を生む授業。
<b>英語</b> 7年C組 授業者:伊藤 江莉奈	Goodbye, "One-way" self-introduction! 「Unit 0~4を統合して」 私たちがこれまでやってきた自己紹介は、海外でも通用するの?クラスメイト、先生、留学生たちとお互いに自己紹介していく中で、聞き手の役割の重要性に気付いていく。「何をどのように話すのか」や「その言葉をどのように受け止めるのか」など、コミュニケーションの基盤となる姿勢を培っていく授業。

# 附属幼稚園

受付	オリエンテーション	公開保育	公開授業Ⅱ (義務教育学校)	昼食	分科会 (3、4、5歳児合同)
8:10	8:50	9:00	10:55 11:10	12:00	12:50 14:15

保育者	主題 / めざすあそび
<b>あそび</b> 年少/年中/年長 保育者:前田祐子 廣瀬友加里 上田晴之 藤井衣利子 渋谷喜代子 瀬戸真世	<b>年少「はやくあそびたい」</b> 一人一人が安心して過ごせる環境の中で、新たなもの・こと・人・遊びに自ら出会い、自分を出しながら遊びを楽しんでいく。友達の遊びにも興味を向けながら、自分の好きな遊びを見つけるには？教師や友達に自分の思いを伝え、いろいろな遊びに自ら関わり楽しく遊ぶことを目指す。 <b>年中「いっしょにあそぼ」</b> 好きな遊びを楽しむ中で、自らやりたいことを探し、自分なりに出会いや気付きを重ねながらその面白さや不思議さを味わっていく。その中で、他者の思いや気付きにも触れながら、遊びに没頭し、さらに新たな遊びを生み出していくには？周囲の環境との関わりの中で、自分を出しながら遊ぶことを目指す。 <b>年長「ちからをだして」</b> 自分のやりたい遊びに意欲的に取り組む中で、目的に向かって挑戦したり、友達と協力したりしながら探究する面白さを味わっていく。その中で、もの・こと・人との出会いや気付きを重ね、試したり工夫したりしながら遊びの展開を楽しむには？互いの「好き」を認め合いながら、自己発揮していくことを目指す。



## 全体会・シンポジウム (14:30~16:30)

### テーマ「協働探究でひらく『世界』」

#### シンポジスト



秋田 喜代美 氏  
 学習院大学文学部 教授

#### シンポジスト



鹿毛 雅治 氏  
 慶應義塾大学  
 教職課程センター 教授

#### シンポジスト



山下 修一 氏  
 千葉大学教育学部 教授

#### コーディネーター



木村 優  
 福井大学連合教職大学院  
 教授

子供たちは、あらゆる事象や材と関わり、問いかけ、語り合う中で、その意味や価値を捉え直していく。12年間の協働探究を通して、子供たちが多様性を発揮しながら学びをひらくプロセスを、教師はどのように支えることができるのか。ソニー子ども科学教育プログラム最優秀校のご講評を頂きつつ、ご参会いただいた皆様とともに、子供の学びの姿から、これからの学校教育の在り方を考えていきたいと思ひます。

オンライン生配信決定！  
 オンライン(Zoom)にてシンポジウムの様子を生配信します。ご希望の方は下記二次元コードよりお申し込みください。後日、ID、パスコード等をメールにてご連絡いたします。

参加費 一般 1,000円 学生 500円

※参加される方は、ご昼食を各自でご準備ください。  
 ※学生の方には、研究紀要の配布をしません。購入希望の方は、受付でお申し出ください。  
 ※申し込み方法:右の二次元コードより必要事項をご記入の上、お申し込みください。

申し込み締切  
 令和7年  
**5月30日(金)**

申し込み用 二次元コード



<https://forms.office.c om/r/H4jUm1Ha3i>

問合せ先:担当:川崎(義務教育学校)・上田(幼稚園)  
 〒910-0015 福井県福井市二の宮4丁目45-1 Email: fuzoku-e@f-edu.u-fukui.ac.jp  
 tel 0776(22)6891 fax 0776(22)7580  
 HP: <https://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzoku-g/>